

第3類（杏林大学学則）

別表1-6

医学部授業科目及び単位数

〈平成31年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択 必修	自由 選択	
医療と 教養	科 学 と 医 療	情報科学	1	⑤		
		生命倫理と医療安全	1			
		人文生命科学特論	1			
		行動科学Ⅰ	2			
		行動科学Ⅱ	1			
		地域と大学（早期体験学習Ⅰ）	2			
		早期体験学習Ⅱ	2			
		早期体験学習Ⅲ	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	4			
		生体化学	4			
		医学物理学	4			
		医学統計学	1	⑤		
	プレチュートリアル	2	⑤			
	外 国 語	英語・医学英語Ⅰ	2			
		英語・医学英語Ⅱ	2			
		英語・医学英語Ⅲ	2			
		英語・医学英語Ⅳ	1			
		英語・医学英語Ⅴ			1	
		実践英語Ⅰ	2			
実践英語Ⅱ				2		
ドイツ語Ⅰ				2		
ドイツ語Ⅱ				2		
フランス語Ⅰ				2		
フランス語Ⅱ				2		
中国語Ⅰ				2		
中国語Ⅱ			2			
医 学 の 基 礎	構 人 造 体 の	肉眼解剖学Ⅰ	1			
		肉眼解剖学Ⅱ	5			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能 異	分子生物学	3			
		細胞生物学	2			
		代謝生化学	5			
		統合生理学	4			
病態生理学	4					
薬理学	4					

第3類 (杏林大学学則)

礎	常 の 発 生 と 制 御	病理学A	3			
		病理学B	1			
		感染症・免疫学	5			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	1			
		衛生学	2			
		公衆衛生学	3			
臨床 医学 講 義	臨 床 医 学	臨床医学入門Ⅰ	1			
		臨床医学入門Ⅱ	1			
		臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	1			
		腎臓内科学	1			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学・脳卒中医学	2			
		循環器病学A	2			
		循環器病学B	2			
		血液内科学	1			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	2			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	1			
		小児科学	2			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	1			
		脳神経外科学・脳卒中医学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	1			
		皮膚科・形成外科学	1			
		泌尿器科学	1			
		眼科学	1			
		耳鼻咽喉科学	1			
		産科婦人科学	2			
		放射線医学	1			
		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		腫瘍学	1			
		感染症学	1			
		生活習慣病学	1			
臨床診断学	4					
臨床総合演習	1 4					
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	1			

第3類（杏林大学学則）

臨床 実習	基本 実習	脳卒中医学実習	1		
		循環器病学実習	2		
		血液内科学実習	1		
		内分泌・代謝内科学実習	2		
		消化器内科学実習	2		
		腫瘍内科学実習	1		
		高齢医学実習	2		
		精神神経科学実習	2		
		小児科学実習	2		
		消化器外科学実習	2		
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1		
		乳腺外科学実習	1		
		小児外科学実習	1		
		救急医学実習	2		
		救急総合医療学実習	1		
		脳神経外科学実習	1		
		心臓血管外科学実習	1		
		整形外科・リハビリテーション医学実習	2		
		皮膚科学実習	1		
		形成外科学実習	1		
		泌尿器科学実習	1		
		眼科学実習	1		
		耳鼻咽喉科学実習	1		
		産科婦人科学実習	2		
		放射線医学実習	1		
		麻酔科学実習	1		
		病理学実習	1		
実応 習用	チュートリアル	1			
	臨床応用実習A	1 2			
	臨床応用実習B	1 2			
計					210単位

学 科 目：情報科学

科目責任者：大谷宗久 准教授

担当教員：准教授 大谷宗久（物理学教室）、高原哲士（物理学教室）
その他の担当教員は講義予定表に記載

A. 教育の基本方針

近年、医学の分野のみならず一般社会にも幅広く情報処理技術が導入されるようになり、これらについて基本的な知識を身に付けることが必要になってきている。また、自然科学の多くの分野では実験データを処理し、グラフを作成することが基本である。情報科学では、表計算ソフトを活用し、データ処理やグラフ作成のための基本を実習形式で学び、文献検索やデータベースの活用を習得する。本科目は、「医学物理学実習」や「医学統計学」等で必要となる計算機を用いた数理解析法とその原理の解説を演習内容として含み、「早期体験学習」や「プレチュートリアル」・「チュートリアル」におけるプレゼンテーションや情報検索の基盤を与える講義・演習として位置づけられるものである。

B. 到達目標

1. 適切な情報源にアクセスして必要な情報を収集することができる。
2. 診療・研究・教育のために情報・通信技術を利用することができる。
3. 明瞭で簡潔なプレゼンテーション資料を作成し、発表できる。

C. 修得すべき能力

1. 表計算ソフトを用いてデータ処理とグラフの作成ができる。
2. 数式で表された量を表計算で扱うことができる。
3. 適切な手法を用いて文献検索や情報検索を実行できる。
4. プレゼンテーション資料の作成と、研究発表にふさわしいプレゼンテーションができる。

D. 学習内容

1. 基本方針

本科目は、カリキュラムマップにおける「行動科学」と「社会医学」および「医学準備教育」の内容を含み、科学的根拠に基づく医学を実践するために必要な分析的・科学的手法の基盤修得に主眼を置いて実施する。情報収集や文献検索、パソコンの

基本操作や必要なソフトの使い方を学び、情報処理の基礎知識を習得する。

2. 概要

項目	概要	期/コマ	担当
図書館情報学	文献検索	前期/2	医学図書館職員
計算機科学演習	パソコンの基本操作	前期/2	高原、大谷
	データ処理	前期/5 後期/2	高原、大谷
	プレゼンテーション	後期/2	高原、大谷

3. アクティブラーニング

講義内容の理解度をはかるため、コンピュータ上で回答可能なアンケートを実施する。また、小グループでの討論と発表を行う。

E. 実習・課外授業

1. 実習

パソコンの基本操作やデータ処理、文献検索のテーマで実習を行う。

2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に配布される実習のテキストを読み、内容を理解しておくこと。

G. 復習学習の内容

PC 教室は随時開放されているので、必要に応じて前回の内容を復習しておくこと。

H. 成績評価の方法・基準

1. 成績の判定

実習や講義1回ごとに評定し、学年末に総合判定する。欠席者に対する再実習の機会は設けないので注意すること。

2. 評価の方法

Excel ファイルやレポートなどの提出物により理解度を判定する。また、これとともに出欠、実習中の態度などを考慮し、総合評価する。

3. 判定基準

レポート◎ 学習態度◎ 出欠◎

レポート (60%)、学習態度 (20%)、出欠 (20%)

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
テキストを配布する。
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
なし
3. 参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
なし

「単位数」については別添の学則を参照のこと

2021年度 1年 講義予定表

【情報科学】 (A班)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	水	1	図書館の使い方	図書館にある資料の種類と配置場所、探し方を学ぶ。	医学図書館職員	配布資料およびWeb教材
4/7	水	2	文献検索方法	・図書館ポータルサービスMyLibraryとWebサービスの利用方法を学ぶ。 ・文献データベースの基本と学外からの利用方法(リモートアクセス)を学ぶ。	医学図書館職員	〃
4/14	水	4-5	パソコンの基本操作	ウィンドウ操作、ファイル、フォルダの扱いを概観した後、Excelを使ってグラフの作成を学ぶ。そのために必要な表計算における基本操作、計算の手法についても学ぶ。	教室員全員	配布テキストの該当箇所
4/20	火	3-5	データ処理(1)	Excelにおけるセル間の演算、関数の使い方について学ぶ。片対数、両対数グラフの用途と作り方を学ぶ。また、データの検索やソーティングなどの統計処理も扱う。	教室員全員	〃
4/26	月	4-5	データ処理(2)	Excelにおける近似曲線の描画、区分求積法による数値積分や、セル間の演算を用いた微分方程式の近似解などについて学ぶ。	教室員全員	〃
9/8	水	1-2	データ処理(3)	Excelを用いて統計的手法を学ぶ。分析ツールを援用しながら、基本統計量、ヒストグラム、ピボットテーブルを扱う。	教室員全員	〃
11/8	月	3	プレゼンテーション(1)	研究発表を念頭におき、わかりやすいプレゼンテーションを行うための心得と、パワーポイントを用いたスライド作成の手順について解説する。	教室員全員	〃
11/8	月	4	プレゼンテーション(2)	各自が作成したスライドを用いて模擬発表を行い、PCのスクリーンを用いたプレゼンテーションの基本的な手法を学ぶ。	教室員全員	〃

2021年度 1年 講義予定表

【情報科学】 (B班)

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/12	月	4-5	パソコンの基本操作	ウィンドウ操作、ファイル、フォルダの扱いを概観した後、Excelを使ってグラフの作成を学ぶ。そのために必要な表計算における基本操作、計算の手法についても学ぶ。	教室員全員	配布テキストの該当箇所
4/14	水	1	図書館の使い方	図書館にある資料の種類と配置場所、探し方を学ぶ。	医学図書館職員	配布資料およびWeb教材
4/14	水	2	文献検索方法	・図書館ポータルサービスMyLibraryとWebサービスの利用方法を学ぶ。 ・文献データベースの基本と学外からの利用方法(リモートアクセス)を学ぶ。	医学図書館職員	〃
4/19	月	2-3	データ処理(1)	Excelにおけるセル間の演算、関数の使い方について学ぶ。片対数、両対数グラフの用途と作り方を学ぶ。また、データの検索やソーティングなどの統計処理も扱う。	教室員全員	配布テキストの該当箇所
4/28	水	3-5	データ処理(2)	Excelにおける近似曲線の描画、区分別積分法による数値積分や、セル間の演算を用いた微分方程式の近似解などについて学ぶ。	教室員全員	〃
9/22	水	3-4	データ処理(3)	Excelを用いて統計的手法を学ぶ。分析ツールを援用しながら、基本統計量、ヒストグラム、ピボットテーブルを扱う。	教室員全員	〃
11/15	月	3	プレゼンテーション(1)	研究発表を念頭におき、わかりやすいプレゼンテーションを行うための心得と、パワーポイントを用いたスライド作成の手順について解説する。	教室員全員	〃
11/15	月	4	プレゼンテーション(2)	各自が作成したスライドを用いて模擬発表を行い、PCのスクリーンを用いたプレゼンテーションの基本的な手法を学ぶ。	教室員全員	〃

教室員全員：高原哲士、大谷宗久

学 科 目：プレチュートリアルⅡ（医学概論・データサイエンス）

科目責任者：大西宏明 教授（教務部長）

担当教員：教授 松田剛明（副理事長）、
久松理一（消化器内科学）、
准教授 大谷宗久（物理学）

A. 教育の基本方針

1. 本学の建学の精神である「眞善美の探究」、医療や医学の課題への取り組み方を身につけることを目的とする。
2. 数理・データサイエンス・AI を日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に付けることを目的とする。

B. 到達目標

与えられた課題に積極的に取り組み、

1. 医師の社会的責任を自覚することを身につける。
2. 医学知識と技能を修得する意欲を身につける。
3. データサイエンスの基礎を修得する。

C. 修得すべき能力

1. 与えられた課題や演習に積極的に取り組む姿勢
2. データサイエンスについて概説する能力

D. 学習内容

1. 本学の建学の精神である「眞善美の探究」の意義、および医療や医学の課題とそれに対する取り組み方について学ぶ。
2. (1) 社会におけるデータ・AI 利活用（社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向）、(2) データリテラシー（データを読む、データを説明する、データを扱う）、(3) データ・AI 利活用における留意事項（データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項）を学ぶ。

E. 実習・課外授業

なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書から関連事項についての情報を得た上で講義に臨むこと。

G. 復習学習の内容

授業で与えられた課題について理解できなかった内容を整理し、授業中に提示された参考文献などで学習する。

H. 成績評価の方法・基準

全ての授業に出席することを必要とする。正当な理由のない欠席者は不合格とする。演習内容によってはレポートを提出してもらい、評価の一部とする。また、授業内に行われる小テストや授業中の態度も評価する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が所持しなければならないもの）
なし
2. 参考書A（学生の所持をすすめるもの）
データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7
学術図書出版社
3. 参考書B（図書館での利用をすすめるもの）
テーマによって担当教員が提示する

2021年度 1年 講義予定表

【プレチュートリアルⅡ（医学概論・データサイエンス）】

月日	曜	時限	A	B	C	D	E	
4/9	金	3	松田					
4/12	月	1		松田				
4/12	月	2			松田			
4/13	火	1				松田		
4/13	火	5					松田	
6/28	月	4	久松					
			講義テーマ	講義内容			担当	
8/30	月	3	社会におけるデータ・AI利活用	<p>「社会におけるデータ・AI利活用」について、特に「社会で起きている変化」「社会で活用されているデータ」「データ・AIの活用領域」について学びます。情報化社会と言われて久しい現代ですが、「情報」「データ」そして「人工知能（AI）」と言われるものから逃れて生活することはもはや不可能です。現代社会の中で情報やデータがどのように利用されているのか、どのような変化がもたらされているのか、そしてこの先どのようなことが起きてどのようなことが必要とされるのか、を概観します。</p>			大谷	
9/1	水	3	データ・AI利活用のための技術	<p>「データ・AI利活用のための技術」、「データAI利活用の現場」、「データ・AI利活用の最新動向」について学びます。まず、「データ・AI利活用のための技術」では、データ・AI利活用のための定番の解析技術について概要を説明した後、AI技術の最近のトピックについて解説します。次に、「データAI利活用の現場」では、データサイエンスのサイクルについて学びます。さらに、製造・流通、金融、サービス、公共政策、インフラ、ヘルスケア分野それぞれのデータ・AI利活用事例を紹介します。最後に、「データ・AI利活用のための最新動向」では、AIの最新技術として、深層学習、深層生成モデル、深層強化学習、転移学習を取り上げ、その概要を平易に解説します。加えて、AI等を活用した新たなビジネスモデルとして、シェアリングエコノミーについて学びます。</p>			大谷	

2021年度 1年 講義予定表

【プレチュートリアルⅡ（医学概論・データサイエンス）】

月日	曜	時限	A	B	C	D	E
9/1	水	4	データリテラシー・データを讀む	<p>データは便利なものですが、その見方や使い方によっては、私たちが誤った判断に導くことがあります。「データを讀む」では、データを適切に読み解く力を身につけるために、2つのことを目標にしています。1つ目は、さまざまな現象の背景やその要因をデータをもとに理解することです。そのために、基本的なデータの性質やデータどうしの関わりなどを学びます。2つ目は、データを正しく読む力を養うことです。身近なデータがどのように集められているかや誤ったデータ利用の実例を知ること、データを正しく読むための要点を学びます。</p>			大谷
9/8	水	2	データリテラシー・データを扱う	<p>本講義の前半では「データの可視化」について学びます。データの可視化とは、数値や文字のデータをグラフや図などを用いて直感的に分かりやすい形で表現することであり、これにより生データだけでは捉えることのできなかったデータの特徴を効果的に説明できるようになります。また後半では、表計算アプリの一つであるExcelの操作方法を紹介し、データの集計・並び替え・ランキングなどのデータ処理の基礎について学びます。</p>			大谷
9/22	水	3	データ・AI利活用における留意事項	<p>データを扱い、利用することは適切な意思決定や社会の高度化においては不可欠なものです。扱い方によってはマイナスの結果をもたらす場合もあります。データの捏造や情報の権利の問題、プライバシーや個人情報保護の問題、AIが引き起こす倫理問題等、これから整えなくてはならない環境や合意形成・ルールなどがたくさん存在します。本講義では、データサイエンスを学び、活用するにあたっての倫理的問題などについて学びます。</p>			大谷

「 単位数 」については別添の学則を参照のこと

学 科 目：医学統計学

科目責任者：遠山 満 特任教授

担当教員：准教授 高原哲士（物理学教室）、大谷宗久（物理学教室）

A. 教育の基本方針

統計学は、生活習慣と疾病の罹患率との相関や、臨床試験における新薬の薬効の有無などを定量的に評価するにあたって、医療の現場でも多く用いられている。新しい診断検査方法や治療方法の有効性を判断するために、統計的手法の取得は不可欠なものであり、不必要な検査や投薬を最小限に抑えるためにどのような考え方にに基づき判断すべきか、統計学はその指標を与える礎となるものである。本講義は、本学医学部学生の到達目標のうち「問題解決能力」や「医学・医療と地域・社会との関わり」を勘案して、統計学の基本的知識とデータ解析のための基礎技術の習得を目標とし、疫学や治験などで用いられる統計学的手法の基礎を学習することを主題とする。本科目は、「医学物理学実習」をはじめ「生体化学実習」・「生物学実習」およびM3で履修予定の「薬理学実習」等で必要となる統計的仮説検定や回帰分析といった統計解析法とその原理の解説を講義内容として含み、M3やM6で学習する「衛生学」や「公衆衛生学」の基盤を与える講義・演習として位置づけられるものである。

B. 到達目標

“医学のための統計学修得”を目標に以下のことを明確に説明でき、かつ対処できる知識や技能を得ることを目標とする。

1. データの基本統計量とその分布
2. 相関と回帰分析
3. 統計的仮説検定
4. 相関分析における相関係数の解釈、検定における有意確率の解釈
5. 統計処理から得た結果の解釈
6. 臨床医学との係わり合い、一般的に公表されたデータ等についての適切な解釈

C. 修得すべき能力

1. 確率変数とその分布について、その意義を説明できる。
2. 統計的推測（推定と検定）の原理と方法を修得する。
3. 統計ソフトを用いた解析方法を身につける。

D. 学習内容

1. 基本方針

本科目は、カリキュラムマップにおける「行動科学」と「社会医学」および「医学準備教育」の内容を含み、科学的根拠に基づく医学を实践するための分析的・科学的手法の原理修得に主眼を置いて、医学に必要な統計学の基礎理論や基礎知識の解説を行う。コンピューターが算出した数値を鵜呑みにするのではなく、そのブラックボックスの中で何が行われているかの基本的理解とその数値があらわす意味をしっかりと理解することが大切である。

2. 概要

項目	概要	期/コマ	担当
医学統計学講義	記述統計	前期/3	大谷
	母数の推定	前期/2	大谷
	統計的仮説検定	前期/4	大谷
	回帰分析	前期/1	大谷
	生存時間分析、ROC 曲線	前期/2	大谷
統計学演習	エクセルによる統計分析	後期/1	高原、大谷
	SPSS を用いた統計分析	後期/1	高原、大谷

3. アクティブラーニング

講義内容の理解度をはかるため、スマートフォン等で回答可能な評価外の小テストを実施する。

E. 実習・課外授業

1. 実習

PC 室での表計算ソフト (Excel) 及び統計ソフト (SPSS) を用いた医学統計学演習を主に行う。

講義で解説した統計学の基礎知識や基礎理論、そして実データの統計処理について、学習・体験する。PC 室の開放時間を確認して、各自、統計ソフトを自由に操作しデータの統計処理ができるような復習態勢をとることが望まれる。また、統計ソフトに頼らず、電卓を用いた解析や結果解釈を行う。

2. 課外授業 なし

F. 準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容 (シラバス) の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書から関連事項についての情報を得たうえで講義に臨むことが望まれる。なお、医学統計学演習では、短

時間のうちにコンピューター上でのデータ処理をするため、事前にコンピューターの使用法やエクセルの取り扱いなどに習熟して受講されたい。

G. 復習学習の内容

講義中に出題された演習問題が時間内に解けなかった場合は、次の講義開始時まで問題解いてくること。

H. 成績評価の方法・基準

1. 試験の方法：講義内容の理解度と応用力について確認する。

2. 試験の期日と実施方法

前期の定期試験期間中に期末試験を行う。試験の際は必ず関数電卓を持参すること。再試験は、後期講義期間中の講義・実習の無い時間帯に実施する。試験においては、総合的な理解力を確認するため記述式問題と電卓で計算できる統計処理の計算問題を出題する。

3. 評価方法

定期試験の結果および演習時の提出物を評価し、出席、学習態度、レポートも参考にする。

4. 判定基準

判定基準は60点以上を合格とする。

5. 定期試験受験資格に関する出席の取り扱い

講義・実習を別々として通年の出席率で判定する。

I. 学習指導書

1. 教科書（学生が必ず所持すべき本）

基礎医学統計学 改訂第7版 加納克己、高橋秀人著 南江堂

2. 参考書（学生の所持を勧めるもの）

統計学入門 第7版 杉田暉道、栃久保修著 医学書院

2021年度 1年 講義予定表

【医学統計学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/15	木	2	標本抽出とデータ解析	統計学における母集団や標本などの基本的概念について説明し、さまざまな標本抽出法や、得られるデータの種類について解説する。	大谷宗久	3～10
4/28	水	2	分布の代表値と散布度	母集団から抽出して得られる標本の性質を記述する基本統計量として、平均値や中央値といった代表値、および分布のばらつきを表す標準偏差や範囲などの散布度について解説する。	大谷宗久	11～21
5/6	木	2	誤差伝播と有効数字	データの測定によって得られる値の有効数字および誤差について説明し、データを用いた科学量の評価にあたって測定値の誤差がどのように伝播するか解説する。	大谷宗久	配布資料
5/13	木	2	確率分布と中心極限定理	確率変数が従うさまざまな分布を紹介し、複数回の測定値の平均がどのような分布に従うかを規定する中心極限定理について説明を行う。	大谷宗久	29～44
5/19	水	2	母数の推定	有限回の標本抽出によって得られる標本平均と分散のデータから、母平均や母分散が存在しうる区間を推定する方法について解説を行う。	大谷宗久	83～87
6/10	木	2	母平均の差の検定	統計的仮説検定の概要を説明し、帰無仮説と背理法を用いた検定の方法について解説する。検定の具体例として2群間の平均値の差の検定（ t -検定）を取り上げる。	大谷宗久	51～55
6/17	木	2	2群の割合の差の検定	有意確率や片側検定といった検定にかかわる概念を説明する。また、等分散性の検定や、2群間の割合の差の検定について解説を行う。	大谷宗久	56～57, 79
6/24	木	2	回帰直線と相関係数	連続変量の二変数間の関係を検討する際に使用する相関分析、回帰分析について解説する。また、死亡率など値域が有限区間である場合に用いられるロジスティック回帰分析についても触れる。	大谷宗久	99～114
6/29	火	4	クロス集計表と独立性の検定	正規分布に従わないデータの際に利用される「ノンパラメトリック検定」の概要と、その代表である「クロス表分析（カイ二乗検定）」について、解説する。	大谷宗久	69

2021年度 1年 講義予定表

【医学統計学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
7/1	木	2	順位和検定	「ノンパラメトリック検定」での2群間の代表値の差の検定に相当する「Mann-Whitney's U検定」と、分散分析に相当する「Kruskal-Wallis検定」について説明する。	大谷宗久	58～60
7/6	火	5	一元配置分散分析	3群以上の多群間での平均値の差の検定である「一元配置分散分析」について解説する。また、どの2群の平均値に差が生じているかを明らかにする多重比較の方法についても触れる。	大谷宗久	115～130
7/7	水	4	生存時間解析とROC曲線	生存率の時間変化を記述するKaplan-Meier推定量について説明し、2群の生存確率の差を検証するログランク検定について解説する。検査値の最適閾値を決めるためのROC曲線についても触れる。	大谷宗久	131～151
8/30	月	3	【A班】 医学統計学演習1	Excelを用いて2群間の平均値の差の検定(t検定)を学ぶ。関数を使う方法と分析ツールを用いる方法を紹介する。	教室員全員	6章
8/30	月	4	【A班】 医学統計学演習2	SPSSを使った統計分析の方法を学ぶ。データ入力方法から始めて、基本統計量、ヒストグラム、平均値の差の検定、順位和検定、カイ二乗検定などを扱う。	教室員全員	6, 7章
9/1	水	3	【B班】 医学統計学演習1	Excelを用いて2群間の平均値の差の検定(t検定)を学ぶ。関数を使う方法と分析ツールを用いる方法を紹介する。	教室員全員	6章
9/1	水	4	【B班】 医学統計学演習2	SPSSを使った統計分析の方法を学ぶ。データ入力方法から始めて、基本統計量、ヒストグラム、平均値の差の検定、順位和検定、カイ二乗検定などを扱う。	教室員全員	6, 7章

「 単位数 」については別添の学則を参照のこと